

授業内で効果的・効率的に 読みを深める手法の研究

岐阜県立多治見高等学校 今村 若葉

1

内容

1. テーマ設定の理由
2. 研究内容 ①授業展開
②音読・リテリング
3. 成果と課題
4. 実践を通しての感想・まとめ

2

1. テーマ設定の理由

年度当初の状況、課題意識

- ・ 始めて1年生の教科担任をもつ
- ・ 生徒の実態把握△（中学までの既習事項、習熟度）
- ・ 学習習慣の確立…高校での授業の進め方や予習の仕方についての指導
- ・ 学力幅の大きい生徒への
- ・ 新カリキュラムへの対応、観点別評価の実施

など多数…どう授業をすすめればいいのか？

3

1. テーマ設定の理由

課題 日々の授業について

- ・ 授業が訳読や文法解説に偏りがち
- ・ 英文の内容についての理解を深めることができていない
- ・ 知識の定着活動、表現活動を行うに至っていない

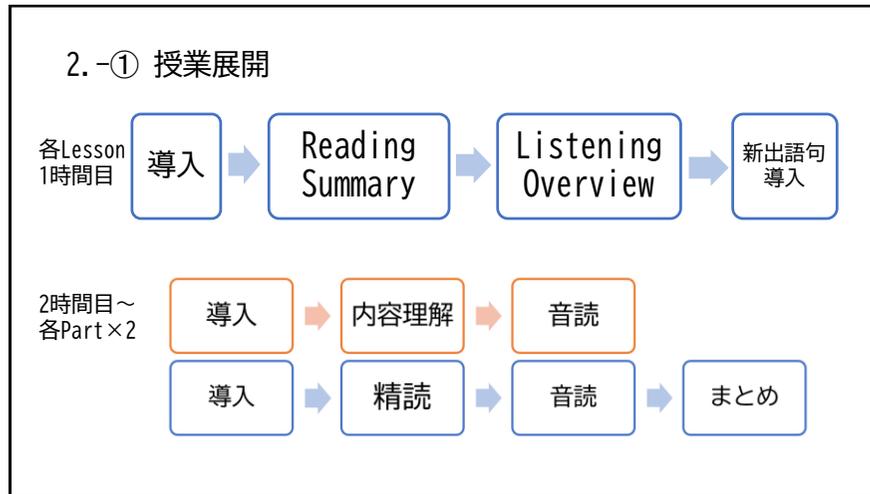


限られた時間のなかで効率よく効果的に読みを深めたい

- 研究
- ・ 読むことを中心とした授業で複数回英文に触れる
 - ・ リテリングを目標にインプット、インテイクを行う

→授業展開の「型」を作りたい

4



5

各Lessonの1時間目

目的 題材の背景知識を刺激する 全体像を把握する

1. 導入 スライドによる QA / picture describingなど
2. Reading 副教材の要約英文→T/F QA
3. Listening 全文を読みながら聞き、各Partのタイトルを選ぶ
4. 新出語句の導入 Part1-4すべての新出・重要語句（英日）をプリントにまとめ提示

6

導入スライド（例Lesson8 Overtourismの問題と対策）

日本の訪日外国人旅行者数の推移

Q:何を示したグラフか？
 生徒の気づき
 ・2003年～2022年まで
 ・グラフ青色が倍増
 ・青のほうが多い
 ・万単位のグラフ
 ・2019年をピークに、3年間激減
 ↓ A:
 ・男女の何か
 ・コロナ
 ・インフルエンザ
 ・旅行者

※単元内容へゆるやかに移行

参考:訪日外国人旅行者数・出国日本人数 | 統計情報 | 統計情報・白書 | 観光庁 (mlit.go.jp)
https://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/oukei/in_out.html

7

導入スライド（例Lesson8 Overtourismの問題と対策）

朝日新聞 DIGITAL 11月の訪日外国人客244万人
 2カ月連続でコロナ前と同水準に(2023.12.20)

日本政府観光局は20日、11月の訪日外国人客（ ）が244万800人となり2019年同月とほぼ同数だったと発表した。2カ月連続でコロナ前の水準となり回復が続いている。

国・地域別では、 が64万9900人（19年同月比約3・2倍）
 が40万3500人（同2・9%増）
 が25万8300人（同65・6%減）

新聞ニュースを用いたQA
 身近な話題として捉える
 生徒の気づき
 ・訪日外国人客→「インバウンド」
 ・国地域→アジア
 中国が1番多い
 ・19年より増えてる？なんで？

単語の日→英 語句の導入
 例: 観光客 tourist
 コロナ covid-19, virus
 増える increase
 減る decrease

【#】11月の訪日外国人客244万人、2カ月連続でコロナ前と同水準に:朝日新聞デジタル (asahi.com) <https://www.asahi.com/articles/ASRDN5VLCRDMULFA00V.html>

8

導入スライド (例Lesson8 Overtourismの問題と対策)



What does this picture show?

Describe it in English! (1 min)

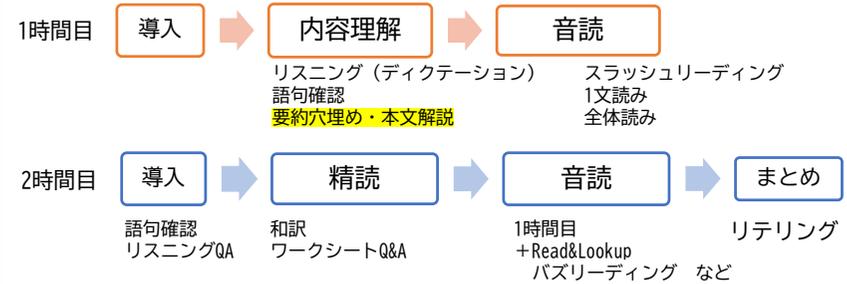
英語で写真を表現する(ペア)
英単語のみも可
生徒の解答:
・場所について
ocean, beach, sea
・物について
many people, taking picture
umbrella, parasol
・状況や心理描写
crowded, busy, tired, fun

英文テーマに通じる落書きの意味を考える問いを与える

9

各Part

目的 本文に複数回触れる
単語の意味でつまずく・訳読だけして終わる を防ぐ

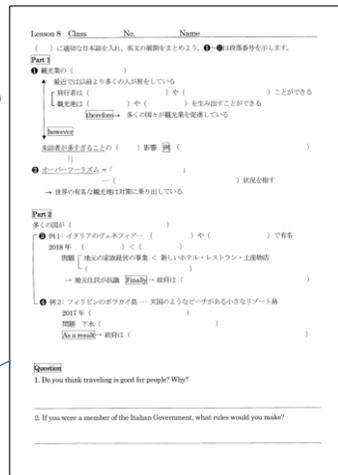


10

内容理解

- 文章展開を図式化したワークシート(予習)を使用し内容理解
- 副教材のスラッシュ入り英文を使用し訳読、文法説明、精読(部分和訳、指示詞の内容説明など)

苦手な生徒にも予習の拠り所になる
訳読の時間短縮
論理構成に意識が向くように



11

2.-② 音読・リテリング

目的 語彙や表現の定着
理解した内容を再現する英文を組み立てる
→予習で用いたワークシートの英語版を使いリテリングに挑戦する

各パート

- 1時間目 (ペア) スラッシュ→1文→(各自) 全文自由読み
- 2時間目 (ペア) スラッシュ→1文→シャドウイング
→Read and Look up →(各自) 全文自由読み
→リテリング準備

12

リテリング

- 9月～Lesson 4 行動変容を促す「仕掛け学」
- 10月～Lesson 5 ルワンダ内戦
- 11月～Lesson 6 測定の単位と人類の歴史
- 12月～Lesson 7 バイオロギング
- 1月～Lesson 8 過剰観光と解説策

文章タイプの似ているLesson6, 7, 8でリテリングを目標にする
(抽象-具体-結論の論説文)

13

予習で用いたワークシートの英語版

< tourist sites suffering from overtourism >

3 Venice in Italy ... canals / historic buildings
 → about 55,000 (a local) people < more than 20 million tourists in 2018
 local family businesses < new hotels / restaurants / tourist shops
 large (b ships) → terrible pollution
 → local people protested → the government made new strict (c rules) for tourists

4 Boracay in the Philippines ... a small resort island with heavenly (d beaches)
 → over 2 million visitors in 2017
 → sewage water flowed into Boracay's (e blue) waters
 → the government (f temporarily) closed the island in 2018

段落ごとにプレゼン形式で実施

14

3. 成果と課題

授業展開のパターン化に関して

- 単元1時間目により全体像をイメージすることができ、各Partを読み進める動機づけにもなった。
- ワークシート（語彙/予習用）の使用により、授業の強弱がついた。内容理解の際に答えに詰まる箇所を把握することができ、訳読箇所を絞ることで時間短縮につながった。
- △展開が決まっているため、授業が単調になりがちである。
- △予習ワークシート必要か？
→生徒が自力で読む機会、力を奪っているのではないかという懸念がある。

15

3. 成果と課題

音読・リテリングに関して

- 言語材料の定着を図ることができ、とくに語句レベルでは多くの生徒が単語の意味や表現を内在化できた。
- △150語程度の本文を繰り返し音読することが難しい
→音読を1段落のみに絞る・リテリングに至らないパートもあった。
- △パフォーマンステスト実施×、基準をもって評価していない
→音読のモチベーションが不明なため、音読がただ読むだけで流れる、リテリングができているのかわからない状態で活動が進んでしまった。
- △発音レベルから意味内容を理解した読み方の指導が不十分であった。

16

4. 実践を通しての感想・まとめ

- ・授業の「型」をつくることで年度の前半よりも展開に強弱をつけ、複数回英文に触れることはできるようになった。
- ⇨ 型をつくることが目的となり、活動ありきで授業計画を立ててしまう傾向が強かった。
活動の曖昧さを反省。活動の意図や意味にこだわり指導すること、またその内容を評価（教員⇨生徒）する必要があると感じた。
- ・教科書全体または単元ごとの題材や言語材料を確認し、時間をかける単元と、大まかな概要をつかむものとのに区別し軽重をつけて扱うことを今後の課題としたい。

17

使用教材

英語コミュニケーション I
 教科書 BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)
 副教材 同上 ナビゲーションノート (数研出版)
 副教材 同上 ワークブック (数研出版)

授業参考資料

金谷憲(編著). 2011. 『高校英語授業を変える！訳読オンリーから抜け出す3つのモデル』東京：アルク.
 田中武夫・田中知聡. 2009. 『英語教師のための発問テクニック 英語授業を活性化するリーディング指導』東京：大修館書店.

18